

# 次期 香川県水産業基本計画（R8-R12）素案について

【基本目標】豊かな海を創造し、香川の水産業を未来へつなぐ

## 本県の水産業を取り巻く環境の変化

- ① 気候変動等による海域環境の変化（海水温の上昇、海域の貧栄養化等）
- ② 国際情勢の不安定化と物価の高騰
- ③ 人口減少に伴う人手不足
- ④ 外国人観光客の増加
- ⑤ 社会全体でのデジタル化の進展
- ⑥ 水産政策の改革（資源管理の強化、海業の推進等）

## 本県の水産業の現状

- ① 漁業者の減少と高齢化
- ② 漁業生産量の減少  
(特にカレイ・タコ類などの「底もの」が顕著に減少)
- ③ 水産物消費の減少（魚離れ）
- ④ 生産資材（燃油、飼料等）の価格高騰

## 基本方針 1 豊かな漁場の創造

### 1 さかなの育つ環境づくり

- ① 漁場環境の保全・再生・創造
- ② 漁場環境の調査・監視
- ③ 適切な栄養塩類の管理
- ④ 有害生物等による漁業被害対策

#### 指標 現状 → 目標

藻場造成面積（累計） **4.9ha** → **8ha**  
(R2~6) (R8~12)

漁業者等による漁場保全活動の件数  
13件 → 23件  
(R6) (R12)

### 2 資源を積極的に増やす取組み

- ① ニーズを踏まえた種苗の供給
- ② 効果的な種苗放流の促進

#### 指標 現状 → 目標

種苗生産の年次目標の達成率 **80%** → **100%**  
(R2~6平均) (毎年度)

魚介類の増殖技術の開発  
件数（累計） 3件 → 新たに3件  
(R2~6) (R8~12)

### 3 資源の持続的利用

- ① 科学的知見に基づく資源管理の推進
- ② 円滑な水面利用の推進

#### 指標 現状 → 目標

主要6漁協のイイダコ漁獲量 **1,858kg** → **5,662kg**  
(R6) (R12)

操業安全講習会の開催  
(累計) 4回 → 5回  
(R2~6) (R8~12)

## 基本方針 2 持続可能な漁業経営と所得向上の実現

### 1 養殖業の生産振興

- ① 魚類養殖業の振興
- ② 藻類養殖業の振興
- ③ 貝類養殖業の振興

#### 指標 現状 → 目標

オリーブ水産物の生産尾数  
(累計) **112万尾** → **145万尾**  
(R2~6) (R8~12)

クロノリ1柵当たりの生産枚数  
3,645枚/柵 → 4,530枚/柵  
(R2~6平均) (R12)

### 2 収益性向上と経営安定対策

- ① 水産物の付加価値向上
- ② イノベーションの創出
- ③ 収入安定・コスト対策

#### 指標 現状 → 目標

隠れた地魚※の水揚げ金額 **18,486千円** → **24,000千円**  
※クロダイ、エイ、アイゴ  
(R6) (R12)

スマート水産技術の導入  
経営体数（累計） 8経営体 → 新たに  
(R6) (R8~12)

### 3 販売促進と消費拡大

- ① 販売促進
- ② 売れる仕組みづくり
- ③ 地産地消の推進
- ④ 安全・安心の確保

#### 指標 現状 → 目標

1世帯当たり魚介類購入金額 **67,990千円** → **74,789千円**  
(R6) (R12)

県産水産物の販売促進キャンペーンにおける応募件数  
**9,884件** → **14,826件**  
(R4~6平均) (R12)

## 基本方針 3 漁業を支える漁村地域の活性化

### 1 漁業の担い手確保と組織強化

- ① 担い手の確保・育成
- ② 漁協の組織強化

#### 指標 現状 → 目標

新規漁業就業者数（累計） **137人** → **200人**  
(R2~6) (R8~12)

漁協への経営改善に関する指導・助言回数（累計）  
69回 → 200回  
(R2~6) (R8~12)

### 2 安全・安心な漁村づくり

- ① 渔港・漁業関連施設等の整備
- ② 地震・津波対策

#### 指標 現状 → 目標

漁港海岸保全施設の整備延長 **1,352m** → **8,336m**  
(R6) (R12)

防災講習会の開催（累計）  
3回 → 5回  
(R2~6) (R8~12)

### 3 漁村のにぎわい創出

- ① 海業の推進
- ② 多面的機能の維持・発揮

#### 指標 現状 → 目標

漁業者等による交流イベントの実施回数（累計）  
83回 → 450回  
(R6) (R8~12)

新たな「海業」の取組み件数（累計）  
0件 → 5件  
(R6) (R8~12)